

「よく来たね～
あがらいん、
ねまらいん、
まず飲まいん」

文字で表記されていると何となく意味は分かるのですが、実際に耳で聞くだけでは、堀先生が何を話していらっしゃるのかわかりませんでした。

こちらの方は、文字で書いてもらっても、さっぱり意味はわかりませんね。

- 1、「かばねやみでわがんね。」
- 2、「おらいさあがらいん。
おごごあっからお茶すっぺ。」
- 3、「今日はあんべわるくて、
あっぺとっぺねえな～。」

堀先生の話の中に、「東北の人は、自分たちが方言を話しているという意識があるから、地元でない場所で話をするときは、標準語を使うように、気を付けているんです。」という言葉がありました。確かに、堀先生が普段話していらっしゃる様子を見ても、東北出身の方だとは気付きませんでした。

ところで・・・堀先生からは、私たちの言葉は、どう聞こえているのでしょうか？「めっちゃ標準語で話しとるつもりやったのに!!」という人も、一度、どの辺が方言なのか、堀先生に聞いてみて下さいね!!

みなさんが
住んでいる
川島
を大切にして
くださいね。

堀先生は、遠く離れている場所で生活していても、気仙沼愛にあふれていることが伝わってきました。

みなさんも、川島のよいところをたくさん見つけて、「川島愛あふれる川中生」になってくださいね。